

# 生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎四四一四八二六)

## 広報委員会とは

高齢者生きがい創造学園  
広報委員会 副委員長 瀬崎 貞三



広報委員になって10年になる。広報委員会の仕事は「生きがい」紙を毎月発行することである。

10日に原稿が締め切られる。以前は原稿が遅れたり、集まらなかつたりもした。最近ではほとんどのサークルがきちんと原稿を提出している。しかし十年前のように、鉛筆をなめなめ書かれた原稿にはお目にかかれない。集まらないときは、委員長や広報委員が穴埋めをしていた。

集まった原稿を、手分けして家へ持ち帰りパソコンへ入力する。見慣れない漢字が出てくるとパソコンでも探すのに苦労をする。数年前は打ち込まれたものを3・5インチのフロッピーへ納めて提出していたのだが、やがてUSBになり今はメールで編集者へ届けられる。

編集されたゲラ刷りの紙面の校正を下旬に行う。誤字・脱字・変換ミスを訂正し、段落のないものに段落をつける。文章の内容については作者の意思を尊重し殆ど手を加えることはない。校正の時間は約二時間。時間を長くしても集中力がもたない。参加者が少ないとそれだけミスも多くなる。校正を終えると印刷し、月末に折り込みを行い各サークルのボックスへ入れる。校正と折り込みの日にはパソコンを打てない人も含め全員が参加して行われる。

広報委員の多くは他の活動でも中心的役割を果たしているので、パソコンを打つ時間や校正にいつも参加できるとは限らない。幸いなことに広報委員は代表者以外、学園生であれば誰でも参加できる。月二回、少し余裕のある人は、文章サークルに入ったつもりで協力していただきたい。

日曜	3月	4火	5水	6木	7金
午前	GG大会 コーラス教室 墨友(書道) 山茶花(俳句) さくら(茶道) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	卓球大会 絵手紙教室 書硯(書道) ドルチェ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	ピアノ教室 男の料理教室 書心(書道) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	書龍(書道) サンシャイン(写真) のこのこ(組み木) 別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) 亀池B(陶芸)	茶道教室 弥生(生花) メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ)
午後	百描会(美術) 亀池A(陶芸)	みどり(茶道) 亀池B(陶芸)	シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	ひろせ(コーラス) 亀池B(陶芸)	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)

### 四国霊場八十八ヶ「書」

(書道サークル 書心)

今年には四国八十八ヶ所霊場、開創一二〇〇年の年にあたり、私達二十数名のグループは、気持ちも新たに平安時代の書の日本三筆の一人、弘法大師を天に仰ぎ見、お参りを続けています。

般若心経には、文盲の庶民にもお経が唱えられる事が出来るように、絵で読み方を表現する「絵心経」を考え、布教したという資料も残っています。

私は、学園で書道を初めて十年余りになりますが、昨年から小野博先生にお世話になっています。二時間の講座の半分程で、精神的にも体力的にも、集中力に限界が来て、途中でギブアップし、達者なのは口ばかり……とてもにぎやか。そんな私のような落ちこぼれの生徒を、穏やかな広い心で指導してください。昨年小野先生には、いつも感謝、感謝です。

昨年の年末に、先生の5サークルの合同展が郷土美術館で開かれ初めて出展させていたいただきました。他の方々の立派な書に普段の気構えの違いを思い知らされ、この気持ちを忘れないようがんばりたいと今は思っています。お参りのお寺ごとに般若心経の写経を納めています。これからも書道教室の成果が写経に生かされ、お大師さまに届きますことを願っています。

(角野 鈴木 多恵子)

### 生涯学習「ゴールド賞」を受賞して

(グラウンドゴルフサークル 広瀬)

本日、学び舎えひめ悠々大学より、奨励賞ゴールド賞が送られて来た。金色刷りの賞状で、愛媛県で七十一人目としてある。

これは同大学が県内の生涯学習関係機関と連携して、一つの学び舎として生涯学習の場を提供し、そこで学んだ時間数に同じた奨励賞を設け、受講した時間数により申請すれば認定され与えられるものである。私の場合は、平成十九年に同大学の受講を始め、本年五月迄およそ七年の積み重ねの受賞である。

当新居浜市で生涯学習に関係する機関としては、新居浜市生涯学習大学、新居浜市高齢者生きがい創造学園、東予コミュニティ・カレッジがある。私はこの三つの機関で二百余時間学び、その集大成である。

思い出せば、当いきがい紙(平成二十三年六月号)に、シルバー賞を受賞した思いを綴った拙文の終りに、次の目標はゴールド賞だと結んでいた。その願いが本日達成した。

同じく、生涯学習受講時間の総数千時間を突破するとしていたのも、十一年目の本年で千二十六時間(自主学習時間を除く)となり目標達成。二重の喜びである。

ここに、紙上をお借りして関係各機関に心より御礼を申し上げます。  
(追記 本日の受賞案内に、ダイヤモンド賞を平成二十六年十一月に授与すると併記があり 歓天喜地)

(大生院 渡部 悟)

日	曜	午前	午後
7	金	桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	ウッド(組み木) 百描会(美術) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
10	月	コーラス教室 書楽(書道) あすなる(俳句) いずみ(短歌) さくら(茶道) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス) いとこのこ(組み木)	
11	火	短歌みらい 絵手紙なでしこ みどり(茶道) エリーゼ(ピアノ) ワルツ(ダンス)	絵手紙はなみずき 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)
12	水	ソナタ(ピアノ)	コンテニュー(ハーモニカ) ピアノ10(ピアノ) 桃山B(卓球)
13	木	学園祭準備 フレッシユ2009 街道をゆく	
14	金	学園祭準備 さつき(生花)	
15	土	学園祭 墨友(書道) ねこやなぎ(川柳) のこのこ(組み木) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)
17	月		

### 振りかえれば

(川柳サークル やながわ)  
春にはまだ遠い冷たい風の中、色んな事を思い巡らせています。

「川柳下ればー」あれは天竜！振り返れば十一名。男子七名女子四名のサークルとしてスタート。和気あいあいの中、一年が来ようとしている。井原みつ子先生の御指導もあり作風も変わりゆく様で、一喜一憂している。俳句は必ず季節を読む文語体に対し、川柳は何を詠んでも自由。口語体普通の話し言葉ふだん着の言葉。川柳は人間を詠む。社会を詠む。

年明け早々に川柳のロビー展があった。「春色に 心のすき間 塗ってみる」春の暖かい華やぐ日々を春色に例え、沈んだり、うまく行かなかったダメな日が、心のすき間。春色なんて色はないけれど、それを華やかな色合の春色に塗ってみよう。前へ前へと行ってみよう。

サークルのあった次の日までは川柳風邪にかかるのだが、すぐ地に戻って忘れ飛び跳ねている。体温も計った事もなく病気になる他人事の様になっていた。命は永遠にある様に思っていた。自分が病むまでは。そして今家族に守られ大勢の皆さんに元気を貰い元気を取り戻している。与えられし命、一日一日を大切に皆に囲まれ人生楽しく「えらやっちゃ えらやっちゃ」と行きたい。

(中萩 桧垣 富美子)



広瀬邸にて「やながわ」の皆さん

27	26	25	24	20	19	18	日曜	
木	水	火	月	木	水	火		
別子GG (ゴルフ) 桃山D (卓球) 書峰 (書道) やまびこ	広瀬GG (ゴルフ) 桃山C (卓球)	絵手紙うさぎ エリーゼ (ピアノ) 別子GG (ゴルフ) ワルツ (ダンス)	書楽 (書道) ウッド (組み木) 桃山D (卓球) ハッピー (ダンス)	別子GG (ゴルフ) 桃山D (卓球) 絆 (歩く)	書龍 (書道) ウォークひうち げんき2012	書心 (書道) そよかぜ (俳句) 広瀬GG (ゴルフ) 桃山C (卓球)	書硯 (書道) ドルチェ (ピアノ) 別子GG (ゴルフ) ワルツ (ダンス)	午前
	ピアノ10 桃山B (卓球)	桃山A (卓球)	いとこのこ (組み木) 桃山B (卓球)		ショパン (ピアノ) 桃山B (卓球)	やながわ (川柳) 桃山A (卓球) 亀池B (陶芸)	午後	

### 組み木

(組み木サークルのこのこ)

「わあ すてき! 万華鏡のようなパズル。なんて器用なんだろう」と驚いたのは、もうずっとずっと前のこと。二十年ぐらいかかな? 郷土美術館の隅っこで展示されているのを見たのが最初であり、これが「組み木」だということすら知らなかった私であった。

退職を機に「やってみよう」と思い教室へ申し込んだ。今年が月二回のサークル活動を心待ちにしている。作品の出来栄は別としてすごく楽しい。

「18番のあさりで、ゆっくりゆっくり切ってね」と、白石芙美枝先生は優しくおっしゃる。一線を見つめて、真剣に糸のこで切っていく。ドキドキ。「今日こそ」と思っても、機械に引き寄せられ曲がってしまった。角は、余計焦ってますますはみ出てしまう。

「あらあら、どうしましょう」と「気にしない。気にしない」と励ましの声。お陰で作品にはすごく満足している。

自分で作ったもので世界に一つしかない作品。何とも不思議で、動物や人形が生きているよう。あたたかさ微笑まじさを感じ

る。小黒先生の組み木。それを指導してくださる白石先生、のこのこの皆さん、本当にありがとうございます。

(垣生 佐々木 鈴子)

### パン作りと私

(講座 趣味の料理教室)

十八歳で島根から新居浜に来て四十六年、元気で会社生活が全う出来たのは、家内の献身的な頑張りと努力のお陰だと思っています。

定年になったら、ゴミだし、トイレ掃除に至るまで家事一切を引き受け、「家内に恩返しをする」と決めていました。

いざ始めると大変大変の連続で、好きなはずの食事の支度が思うに任せず早々にギブアップ、「ママ助けて」と小声で言う。「じゃあ一緒に料理しようよ」と優しく言ってくれました。その時の嬉しかったこと。

以後二人で台所に立つ事が多くなり、時に口喧嘩をしたりしますが、今では大変楽しい一時となっています。

しかし、何とか家内の優しさに応えたいと考えていましたが、パンを持つて仕事に行く姿を見て、これだと直感し、安全で美味いパンとの思いから「趣味の料理教室」に参加させて頂きました。

泉玲子先生もメンバーとも最高で、毎回お会いするのが楽しみです。パンは勿論、それ以外の教えて頂いたメニュー全てを家内と一緒に作りましたが、大満足で友人にも差し上げています。特にりんごパン、ピザは何回も作るほど好評でした。残された人生、二人で笑いながら、時に涙しながら楽しく過ごせたらと思っています。

(金子 高木 謙二)

日曜	午前	午後
28金	メヌエット(ピアノ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	桃山A(卓球)
31月	桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	桃山B(卓球)

### ご恵贈お礼

◎ロビー生け花 二月度 鴻上 美智甫 様 (講師)  
◎川柳にいハマ 二月号 にはま川柳会 様

### 見守り新鮮情報 第183号

一人暮らしの母の家に、医療法人から老人ホームの入居権の申込書が入ったDMが届いた。その後別の業者から電話があり「入居希望者が30人ほどいるが、DMが来た方しか入居権を購入できない。お金は用意するので、人助けだと思って30人分申し込んでほしい」と言われた。

母は「助けてあげたい」と思い、お金を用意しなくてもよいなら、一口100万円を30分申し込んだ。しかし、娘の私が反対し、母が業者に解約を申し入れたところ、損害賠償として150万円支払うように言われたらしい。高額で払えない。(当事者: 70歳代 女性)



**人助け!?!親切心につけこむ 買え買え詐欺に注意!**

### 一緒に短歌を作りませんか

(短歌サークル いずみ)

短歌との出会いはNHKの短歌教室でした。週に一度「題」に従って投稿された作品の中から優れた歌を選んで、選者が解説してくれる朝六時からの番組を聞いています。うちに、私もあんな風に歌が詠めたらいいなあと思うようになりました。

そんな時に広瀬にある生きがい創造学園で短歌教室が始まるのを知りました。今から四年前のことです。(二〇一〇年五月)私と同期に教室に参加した方々は、優秀な方で国語力もかなりある様に思えて教室に参加したことが、身の程を知らない人間だと思ってもみました。

泉寔(まこと)先生に短歌の概要を教えてもらって次の月から実践で歌を作って来るように言われ、それぞれの短歌を順番に読み上げてくれて、添削指導をしてくれます。自分が作った歌を聞いて感じた事は、歌を作った瞬間の時間が蘇ってくることでした。そして、その時の感動に近い歌が出来たときは新たな喜びとして心に残りません。月に一度三首作って来るのが宿題です。

現在、短歌「いずみ」のメンバーは十名ですが、人数がサークルを維持するのにギリギリです。新年度にはもう少し仲間を増やして一緒に楽しくやりたいものと皆で話し合ったところです。私の拙い勧誘の文章で申し訳ありませんが一緒に短歌を作りませんか。

(中萩 林 勇夫)

### ピアノはボケ防止?!

(講座 ピアノ教室)

ピアノに出逢えて、早や九ヶ月余り、学園祭の発表会に向けて、日々ピアノの練習を楽しんでいる。

指1本から始めたピアノ、高橋恵里先生の熱心な御指導のもと、今では拙いながらも5本の指先が、両手が、何となく曲らしく、メロディーを奏できるようになった。ピアノの音色が何とも心地よく、心に響いてくる。

月2回のピアノ教室に通い始めてから楽しみが一つ増えた。それと同時に記憶力が回復したのか、物忘れがなくなってきた。ピアノと向き合い、練習するこなわち「目で音符を読み、脳に伝え、指が鍵盤に反応し、耳で音を確認することが」つまり、「指先が刺激され、脳が活性化し始めたのかな?」と我ながら不思議に思っている。

誰かから「老後は何をしたらよいか?」と尋ねられたら、私はピアノをお薦めする。脳のボケ防止と心の癒しになること請け合いです。

近い将来、ドレミの響きがコロコロと澄んだ音色を醸し出す日を夢見ながら日々悠々練習に励んでいる。そして、今、ピアノ教室で仲間とピアノを奏でるのが一番の楽しみになっている。

(角野 日野 富夫)



ピアノ教室の練習風景

やまびこの仲間とともに

(サークル やまびこ)

壬午の平成十四年に「郷土を歩く」を受講し、翌年サークル「やまびこ」とハーモニカの「スリーホルズ」に入会し、干支が一巡し甲午の年となった。その間、家庭菜園、山野草、男の料理教室を受講したが続けているのは、ウォークとハーモニカだけである。

ハーモニカはサークルを退会したが、数名の仲間と週に一回の練習、月二回位の慰問演奏、毎月喫茶店でミニコンサートをする等して楽しんでいる。

呼吸(いき)をしていけば総入歯になつても吹けるようだし、年をとつても少しずつではあるが上達もしている。

ウォークは年を重ねることはハンディとなる。山は登れないし、長距離はむつかしくなってきた。「やまびこ」は私が加入しているただ一つのサークルである。三十余名のメンバーが長年培ってきた絆は得難い宝物だと思っている。体力的に歩くことが困難になつても退会しなくても済むように、今までやってきたボランティア活動、カラオケ、ハーモニカ、グラウンドゴルフ等歩く以外でも親睦を深めながら歩く基本は守りつつ今のメンバーと共に「やまびこ」での活動が続けられればいいなと願っている。

(中萩 越智 重信)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

じゃんけんで歩道橋渡る下校の子はずみし声が  
音符に並ぶ 高橋 征子  
日ごと見るウォーク道の木蓮の産毛光りてふく  
らみを増す 三浦 忠光  
監督の指示に日焼けの球児らはまなこ光らせ聞  
き入るを見つ 三並 桂子

サークル「いずみ」

初詣痴呆の母は目を閉じて頭を垂れて手を二度  
叩く 林 勇夫  
城山に尾藤二州の歌碑ありて小啄木鳥こつこつ  
ふゆ木をたたく 深川 隆正  
雪山でわだちの横に数々のちさき足跡呼吸をの  
こす 小森 登美

学園柳壇

サークル「やながわ」

この先に寄せては返す夢がある  
石垣にマントを脱いだ石露の花  
子も巢立ち家の憲法忘れられ  
桜垣富美子  
宮部 照美  
山本 嘉恵

サークル「ねこやなぎ」

遺伝子にないものばかり子に望む  
人生のパズルゆつくり埋めてゆく  
心にも歯間ブラシを使いたい  
食べきった皿数に聞くありがとう  
高橋 正明  
竹内 睦子  
寺井ひとみ  
井原みつ子

学園俳壇

サークル「そよかぜ」

単線のかたえに続く曼珠沙華 高橋いたる  
天瓜粉たらちねの母の背にはたく 横山 正和  
松手入れ心もとなき脚立かな 吉田 清美

サークル「あすなる」

すれ違う人の流れや街師走 真田 孝夫  
杭打つて乱れし菊を括りけり 森実みよ子  
初夢は富士の裾野を駆ける馬 東原 昌美

サークル「山茶花」

今夜あたり逢ふかも知れぬ雪女 瀧本 隆子  
友逝きしと一枚の寒見舞ひ 長尾 健治  
清水の音羽の滝も凍返る 森 フサエ

スプリングラー冬も虹生むハーブ園  
呼び止めて遍路に焚火の接待す  
古墳丘駆く高校のマラソン部

講師 阪上 史琅